



先週、淡路島にある兵庫県立景観園芸学校（写真）に見学に行きました。淡路島の北部にある非常に美しい学校です。私が関わっている大阪府高齢者大学校の家庭園芸を楽しむ科に、「園芸療法」という授業があり、その縁で訪問しました。皆さんは「園芸療法」をご存じでしょうか。「園芸療法」とは、“花と緑で人を癒す”療法で、草花や野菜などの園芸植物や、身の回りにある自然とのかかわりを通して、心の健康、体の健康、社会生活における健康の回復を

図る療法です。園芸作業では、歩く、座る、立ち上がる、たがやす、掘る、水をまく、草をとる、収穫する、運搬する、洗うなどの数多くの動作を必要とするため、身体面でも運動能力や体力の維持増進に効果が期待できます。精神面でも、満足感や達成感、気分転換やストレス発散、思考力や想像力の向上、記憶力の改善など、あらゆる効果が期待できるようで、高齢者施設やリハビリテーション施設で利用されています。

聖書の最初は創世記ですが、その1ページが天地創造の記述です。神が天地(この世)を創造された時、最後に私たち人間を作られました。人間の前に「花や緑」を創造して下さり、私たちはそれを楽しみ利用することができます。庭や畑で土いじりをする時、心の落ち着きを感じます。その土も人間の前に神様が造ってくださったのです。神様はすべてを私たちのために整えてくださいました。

## 創世記1章

1節 はじめに神が天と地を創造された。

11～12節 神は仰せられた。「地は植物を、種のできる草や、種の入った実を結ぶ果樹を、種類ごとに地の上に芽生えさせよ。」すると、そのようになった。地は植物を、すなわち、種のできる草を種類ごとに、また種の入った実を結ぶ木を種類ごとに生じさせた。神はそれを良しと見られた。

26～30節 神は仰せられた。「さあ、人をわれわれのかたちとして、われわれの似姿に造ろう。こうして彼らが、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地の上を這うすべてのものを支配するようにしよう。」神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして人を創造し、男と女に彼らを創造された。神は彼らを祝福された。神は彼らに仰せられた。「生めよ。増えよ。地に満ちよ。地を従えよ。海の魚、空の鳥、地の上を這うすべての生き物を支配せよ。」神は仰せられた。「見よ。わたしは、地の全面にある、種のできるすべての草と、種の入った実のあるすべての木を、今あなたがたに与える。あなたがたにとってそれは食物となる。また、生きるいのちのある、地のすべての獣、空のすべての鳥、地の上を這うすべてのもののために、すべての緑の草を食物として与える。」すると、そのようになった。